



県道「広野～小高線」を町で整備できないか

県道「広野～小高線」(宮田地区)

公共下水道の水洗化率は87パーセント

鈴木正範議員 公共下水道の対象エリア内にある戸数と、現在までの普及率を教えてください。

賀沢建設グループリーダー 対象エリア内にある戸数は1,250戸ほどで、そのうち下水道を利用されていない戸数は160戸です。また、下水道本管に接続している水洗化率は、約87パーセントです。

権限委譲されて問題はないのか

佐川栄蔵議員 権限委譲交付金は、三位一体改革に関連するものだが、権限を委譲されると自治体はますます財政困難におちいつてしまつて。

今回県から町に委譲された事務件数を、この交付金で処理することは可能ですか。

黒田総務グループリーダー 権限委譲されたのは16件の事務です。また、それに見合う経費として交付されるのが権限委譲交付金ですが、事務費以外にもそれに携わる職員の人件費を考えますと46万円では足りません。

行政に対する不公平感をどう払拭するのか

新妻良平議員 広野町の下水道普及率は県内一を誇っていますが、公共下水道および農業集落排水の区域以外に住んでいる方々は行政に対して不公平感をいだいています。今後どのような方針で解決してゆく考えですか。

山田町長 具体的な考えはまだ定まっていませんが、そういう不公平さを少しでもなくすため、出来ることから検討してゆきます。

汚泥をリサイクルした肥料はどこで分けてもらえるのか

鈴木正範議員 公共下水道から出た汚泥をリサイクルして、農家や園芸用の肥料にしているという話を聞きました。どこへゆけば分けてもらえることができますか。

賀沢建設グループリーダー 広野浄化センターでは1ヶ月に約30トンの汚泥が発生しています。それを大熊町にある広域汚泥処理施設において炭化処理し、園芸用、農業用の肥料として一部販売しています。ただし、町内に住まわ

いる方については現在のところ無料で配布しています。



広域圏汚泥リサイクルセンター (大熊町)

介護保険料を上げずに特別養護老人ホームを建設できないか

中津伸一議員 広野町が近傍類似の町村の中で最も介護保険料が安くなっているのは施設がないからで、施設ができれば上がるということを町民にも周知すべきだと思います。ただし、介護保険料が上がるから特別養護老人ホームは要らないという理屈にはならないわけですので、町長には特別養護老人ホームの建設については真剣に取り組んでください。

山田町長 より良い特別養護老人ホームを建設できるような方法を考えてゆきたいと思えます。

ニッ沼総合公園整備事業費が確定 (公園整備事業完了により予算を減額)

3月定例会に提案された一般会計補正予算ならびに6特別会計補正予算は、事務事業の確定等による予算の最終調整が多数を占めました。

一般会計では、主にニッ沼総合公園整備事業費の確定ならびに町道整備事業の事業費確定と用地未解決による減額および双葉地方水道企業団負担金等の減額で、特別会計では主に国民健康保険と老人保健の年度末までの保険給付実績見込による医療給付費の減額等の計上でした。

17年度3月補正結果 (会計別予算額)

一般会計補正額	46億4,592万円
(補正額)	△7,296万円
国民健康保険特別会計	5億6,514万円
(補正額)	△4,183万円
土地開発事業特別会計	2,044万円
(補正額)	36万円
老人保健特別会計	6億6,713万円
(補正額)	△1,961万円
公共下水道事業特別会計	2億3,349万円
(補正額)	△234万円
農業集落排水事業特別会計	3,329万円
(補正額)	△203万円
介護保険特別会計補正額	2億3,919万円
(補正額)	△2,051万円

3月補正の主な内容

- 財政調整基金積立金 1億1,635万円
- 双葉地方水道企業団負担金 △2,072万円
- ニッ沼総合公園整備事業 △1,950万円
- 道路新設改良費 △1億1,973万円



整備事業が完了したニッ沼総合公園